

大会報告

山形県ものづくりコンテスト<電子回路組立部門>

山形県立山形工業高等学校

芦野 広巳

1 はじめに

今年度は、第5回県大会（兼東北大会予選会）と、プログラミング技術の向上を目的としたソフトウェア講習会（県高等学校長会工業部会の要請）を実施した。その内容を報告します。

2 県大会について

1) 日程関係

ア 日 時 平成21年6月20日（日）

イ 会 場 山形県立産業技術短期大学校

ウ 参加者 32名

2) 競技結果

ア 総 合

1 位 代田佑介（山工高：情報システム（2年）
60点 <東北大会出場権獲得>

2 位 川井高浩（鶴工高：情報通信システム
（3年）54点

3 位 工藤正史（東工高：電子システム3年）
46点

イ ハードウェア競技

1 位 坂口慶介（山工高：情報システム2年）

2 位 阿部晃士（山工高：電子システム2年）

3 位 栗野鷹光（山工高：情報システム1年）

ウ ソフトウェア競技

1 位 林 啓介（山工高：電子システム3年）

2 位 齋藤彩人（山工高：情報システム2年）

3 位 渡部卓也（米工高：電気系3年）

3 東北大会について

1) 日 時 7月30、31日

2) 会 場 秋田県立大曲工業高校

3) 参加者 7名（各県代表1名と開催県1名）

4) 成 績 1位 秋田県、2位 山形県

5) 内 容 県大会との相違点は、回路図作成を行った点と当日製作した制御基板でプログラム課題を作成したことある。県代表の代田佑介君（山工）の成績は第2位（1位との差は5点）でした。優勝候補が2位となった理由は、使用したノートパソコンのOSとUSBケーブルの相性問題で30分以上口

スしてしまったことにある。11月に実施された全国大会（神奈川県）に出場した秋田県代表（大曲工）は、雰囲気圧倒され結果を残せなかった。

4 ソフトウェア講習会について

1) 日 時 10月10、11日の2日間

2) 会 場 山形県立産業技術短期大学校

3) 講 師 奥山正准教授（メカトロニクス科）

4) 参加者 1、2年生42名

5) 内 容 昨年度のハードウェア講習会に続き、講習会を実施した。事務局が設計した基板（来年度大会で使用）と部品を事前配布し、製作済みの制御基板と開発ルールを持参して基板を活用する実践的な制御プログラミングの講習会を実施した。この講習会で、開発環境の整備方法や、競技への取組みに対する学校間格差の是正につながった。



5 おわりに

電子回路組立部門では、他の競技と異なり、細かい作業と、幅広い知識と技術が要求される競技である。自分の作ったものが動く喜びと、動かない時の悔しさは生徒が競技を続ける原動力になるし、実社会でも最も必要とされる能力である。

全国の技術レベルは向上して環境も進化している。各校とも開発環境を整備して大いに挑戦し、全国大会で入賞できる実力を養成してください。